

HITACHI エンタープライズサーバ EP8000 シリーズ マシンコード来歴

EP8000 POWER7 770(9117-MMB)/780(9179-MHB) ファームウェア変更内容と来歴

	変更内容
AM780_100_100	<p>Impact: Availability / Security Severity: SPE</p> <p>全てのシステムに影響するシステムファームウェア変更</p> <ul style="list-style-type: none"> 投機的実行機能持つ CPU の脆弱性(CVE-2018-3639)をつく攻撃に対するセキュリティ対策を追加しました。 投機的実行機能やアウトオブオーダー実行機能を持つ CPU の脆弱性をつく攻撃に対するセキュリティ対策を追加しました。 HWMC とサービスプロセッサ間のネットワークに一時的な問題が発生した時に、サービスプロセッサでコアダンプが採取されてエラー発生(SRC B181EF88)する不具合を修正しました。 VIOS 環境でファブリック障害がある Fibre チャネルに接続されたディスクからブートした時に、適切なエラーログを出力せずにブートに失敗する不具合を修正しました。 サーバ起動処理中のクロックテストにおいてクロック障害が発生した場合、冗長クロックへの切り替えができず、起動に失敗する問題を修正しました。この問題が発生した場合、エラー(SRC B181E6C7)が記録されます。再起動により回復可能です。 “uncapped”に設定された LPAR の稼働中、プロセッサがプロセッサ・プールに移動したとき、システムがハングアップする不具合を修正しました。 ライブパーティションモビリティを設定している場合に、移行に失敗する不具合を修正しました。 ライブパーティションモビリティで使用する UUID に関する機能の追加と不具合を修正しました。 装置起動時に、PCI アダプタが動作不可となる問題を修正しました。装置の再起動により回復可能です。 共用プロセッサ・パーティションを使用するシステムにおいて、仮想プロセッサの割当てが遅延し性能低下を引き起こす可能性がある不具合を修正しました。新たな共用プロセッサ・パーティションを作成しておくことで、この問題を回避できます。 サービスプロセッサと HWMC 間を DHCP でネットワーク接続する時、エラー(SRC B1818A0F)を誤検出する不具合を修正しました。 HWMC とサービスプロセッサ間のネットワークに障害が発生した後、装置に 2 台目の HWMC を認識させることができない不具合を修正しました。AC 給電の OFF/ON により回復可能です。 複数 CPU ドロウ構成のシステムでエラー(B150B10C、B121C770)を誤検出して起動に失敗する不具合を修正しました。再起動により回復可能です。
AM730_146_035	<p>Impact: Availability / Security Severity: SPE</p> <p>全てのシステムに影響するシステムファームウェア変更</p> <ul style="list-style-type: none"> Live Partition Mobility (LPM)が停止し、パーティションの移動により、移動先サーバの時刻が不正になる問題を修正しました。この問題は、移動先サーバのハイパーバイザの時刻が、移動元サーバの時刻より遅い場合に発生します。 回復可能なエラーにもかかわらず、エラーコード B113E504 を表示してシステムが停止する問題を修正しました。 VIOS 2.2.2.0 以降のシステムへパーティションの移動を行っている間、移動されるパーティションがリブートする問題を修正しました。また、これより古い VIOS バージョンのシステムへ移動する場合、手動でパーティションのリポートをする必要があり、移動のリカバリも必要になる場合があります。 L2 キャッシュエラーが同一プロセッサで 2 回発生すると、2 回目のエラーを検知してシステムが停止する問題を修正しました。 Host Ethernet Adapter (HEA)のポートが、その物理ポートがダウンから回復したにもかかわらず、ダウン状態であると報告される問題を修正しました。 サービスプロセッサが冗長化されたシステムで、“Predictive”エラーが回復したにもかかわらず、セカンダリ側のサービスプロセッサから削除されない問題を修正しました。この問題が発生している状態で、サービスプロセッサのフェイルオーバーが発生すると、誤ってハードウェアをシステムから切り離し、システムがリブートしてしまいます。 システムの電源機能が低下する問題を修正しました。 エラーコード B15A3303 が誤って記録され、時刻(time-of-day)が 1970 年 1 月 1 日に設定される問題を修正しました。 <p>一部のシステムに影響するシステムファームウェアの変更</p> <ul style="list-style-type: none"> 拡張装置 (THE-C7001FC5802 I/Oドロウ)が接続されているシステムで、IPL 中にコード C7004091 を表示してハイパーバイザがハングアップしたり、I/O ドロウの保守作業中にハングアップしたりする問題を修正しました。 VIO Server(VIOS)を使用しているシステムで、クライアント LPAR 間で物理的な I/O リソースを共有して

	<p>いる場合、仮想制御ブロックのページ移行中に、メモリ再配置エラーにより、エラーコード B700F103 でサーバが停止する可能性がある問題を修正しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> メモリミラーリングを使用し、かつミラーリングの最適化ツールを使用している場合、logical memory block (LMB)の内容が再配置中に、メモリの回復不能なエラーが起きると、予測不能な動作をする可能性がある問題を修正しました。 拡張装置 (THE-C7001FC5802 I/O ドロウ) が接続されているシステムで、I/O ドロウの電源ユニットの障害が、電源ユニットのマイクロセットや、電源ユニットの交換で回復したにもかかわらず、障害を報告し続ける問題を修正しました。 拡張装置 (THE-C7001FC5802 I/O ドロウ) が接続されているシステムで、I/O ドロウの電源ユニットの交換中に、誤って Voltage Regulator Module (VRM)の障害を報告し、エラーコード 10001511 および 10001521 を記録する問題を修正しました。この問題が発生すると、I/O ドロウの電源ユニットが起動しなくなります。 LPM の操作を行っているシステムで、メモリリークにより、run time abstraction service (RTAS)が、エラーコード 0c20 でパーティションランタイムの AIX のクラッシュを引き起こす問題を修正しました。 クロックが二重化された構成のシステムにおいて、メモリ用のクロックのうち的一方が異常により切り離された後、もう一方のメモリ用クロックを使用して IPL を行った場合に、エラーコード B158CC62 と B181C041 を記録して、起動に失敗する問題を修正しました。 複数のブートパーティションを持つディスクデバイスがあるシステムで、System Management Services (SMS)で 1 つのブートパーティションしか表示しない問題を修正しました。 拡張装置 (THE-C7001FC5802 I/O ドロウ) が接続されているシステムで、ドロウの電源電圧レベルの異常をエラー報告せず、電源の冗長性が失われたことを検知できない問題を修正しました。 拡張装置 (THE-C7001FC5802 I/O ドロウ) が接続されているシステムで、電源系統の異常によりドロウ内のリソースが使用できなくなる問題を修正しました。 AIX を使用しているシステムで、InfiniBand Host Channel Adapter (HCA)が障害、または機能低下している場合、AIX が強制終了する問題を修正しました。 Selective Memory Mirroring (SMM)が動作しているシステムで、メモリ内で回復不能なハードウェアエラーが発生した場合、ハイパーバイザがハングアップ、またはクラッシュする問題を修正しました。 休止していたパーティションの再開処理中に、状態を格納していたページングスペースとの接続が切れた場合、再開処理がハングアップする問題を修正しました。 ミラーリングしているメモリのデフラグメンテーション中に、アドレス不正によるエラーを検知し、システム停止する問題を修正しました。 LPM が行われているシステムで、移動先のシステムにパーティションが正常に移動したにもかかわらず、エラーコード 2005 でハングアップする問題を修正しました。 ブートできるデバイスが多数あるパーティションで、ブートが失敗し、エラーコード BA210000 が記録される問題を修正しました。
AM730_099_035	<p>Impact: Availability Severity: SPE</p> <p>全てのシステムに影響するシステムファームウェア変更</p> <ul style="list-style-type: none"> SRC B170E540 でシステムがクラッシュする問題を修正しました。 Dedicate 設定のプロセッサがあるパーティションを、Live Partition Mobility(LPM)を行った後にリポートすると、SRC BA33xxxx でハングする問題を修正しました。 RC B124E504 "Chnl init TO due to SN stuck in recovery"のログが採取された場合に、正しい field replaceable units (FRUs)が通知されるように変更しました。 システムファームウェアのインストール後、SRC B1818A10 が誤って記録される問題を修正しました。 仮想ファイバチャネルテープドライブからのブートが SRC B2008105 で失敗する問題を修正しました。 SRC BA180030 と BA180031 が "Predictive"でなく "Information"と記録されるよう修正しました。 OS が AIX のシステムで、Host Ethernet Adapter(HEA)上に大量の AIX が稼働している際に HEA のエラーが記録された後、SRC B7000103 でハイパーバイザがクラッシュする問題を修正しました。 パーティションのサスペンドに失敗する問題を修正しました。 回復不能なエラー SRC B7000103 (ErFlightRecorder) でスタックが失敗し、システムがクラッシュする問題を修正しました。 "RMGR_PERSISTENT_EVENT_TIMEOUT"の SRC B181E6F1 が誤って記録される問題を修正しました。 Advanced System Management Interface (ASMI) メニューによるシステムオペレーティングモード("M"または"N")の変更が、コントロールパネル(オペレータパネル)に反映されない問題を修正しました。 サービスプロセッサファームウェアでメモリリークが起こる問題を修正しました。 複数のシステム IPL の間、SRC B155A491 が誤って採取される問題を修正しました。 <p>一部のシステムに影響するシステムファームウェアの変更</p> <ul style="list-style-type: none"> stride-N ストリームプリフェッチ命令、dcbt(TH=1011)または dcbtst(TH=1011)を活用したシステムで、パフォーマンス低下を引き起こす潜在的な要因を修正しました。 Hardware Management Console (HWMC)を使用するシステムで、Advanced System Management Interface (ASMI)のアクセスに Internet Explorer (IE)を使用した場合、ASMI でネットワーク関連のパラメータの変更後、IE が約 10 分間ハングする問題を修正しました。

	<ul style="list-style-type: none"> アンカー(VPD)カードの交換後、アンカーカードの交換を要求する SRC A70047FF (infomational) が誤って記録される問題を修正しました。 5796I/Oドロワ(G30)が接続されたシステムで、システムハングする場合がある問題を修正しました。 HWMC で運用するシステムで、HWMC 上での"lsslot"コマンドが、vlan インタフェース上の送受信パケット数を誤って高い値を表示する問題を修正しました。 リモートでリスタートできるパーティションを作成した後、そのパーティションのページングデバイスがオンラインであっても、ブートモードやキーロック設定ができない問題を修正しました。 検知できない N-mode の安全性の問題と、FC5802 I/Oドロワの電源サブシステムで報告されるエラーを修正しました。 FC5802 I/Oドロワが接続されたシステムで、"SINK_REASON_CODE_FILE LOCK_TIMEOUT"の表示の SRC B1818903 でブートできない問題を修正しました。 DASD の roll-up fault LED がノードの追加または撤去の後、正しく動作しない問題を修正しました。
AM730_078_035	<p>Impact: Availability Severity: HIPER</p> <p>全てのシステムに影響するシステムファームウェア変更</p> <ul style="list-style-type: none"> ASMI の"システム・サービス・エイズ"下の"Deconfiguration Records"メニューオプションで、メモリコントローラでの手動操作ができないようにファームウェア修正をしました。 回復可能な SRC B113E504 で、プロセッサコアの SRC 報告をしないように閾値の修正をしました。 "power on" 時 SRC B7000602 が誤って記録される問題を修正しました。 SRC BA180030 と BA180031 のログの重要度を'predictive'から'informational'に変更しました。 FC5802 I/Oドロワにおいて、片側の電源内部で発生した異常を検出/訂正しないために電源の冗長性が失われる問題を修正しました。 システムが SRC B18187DA でクラッシュする問題を修正しました。 SRC B2006009 でパーティションをアクティベートできなくなる問題を修正しました。 ハードウェア障害によりエラーを継続して記録しているとき、サービスプロセッサが停止し、SRC B18138B7 が誤って記録される問題を修正しました。 ASMI (Advanced System Management Interface)メニューで、言語選択に関係なく英語が表示される問題を修正しました。 ハイパーバイザのメモリアクセス時、パーティションのメモリ全てを訂正不能メモリーエラーとした問題についてファームウェアを修正しました。 システムブート時に記録される情報"infomational"レベル SRC 10009002 の回数を減らすようにファームウェアを修正しました。 プラットフォームダンプが生成されるとき、同じエラーに2回障害通報が行われる問題を修正しました。 回復不可"unrecoverable"レベルの SRC B181A809 が誤って記録される問題を修正しました。 回復不可"unrecoverable"レベルの SRC B181A403 でシステムブートが停止する問題を修正しました。 サービスプロセッサのファイルシステムのスペースが満杯のとき、プラットフォームのシステムダンプの削除ができない問題を修正しました。 MSD(main store dump)後、パーティションがアクティベートできない問題を修正しました。 システムの電源 ON から1時間以内にアクティベーションすると、パーティションのアクティベートが失敗する問題を修正しました。 電源を OFF/ON した後でリブートしたときに、システムが停止する問題を修正しました。 パーティションの RMA(reserved memory area)に影響する回復不可エラーが記録された後のパーティションリブートで、SRC B170E540 が発生してパーティションのリブートが失敗する問題を修正しました サービスプロセッサのリセット後、SRC B181156C、 B181A40F が誤って記録される問題を修正しました。 パーティションメモリに訂正不能誤りが記録された後のパーティションのリブートが遅延する問題を修正しました。 SRC B181C3251 で重要度レベルを"predictive"から"informational"として記録するようにファームウェアを修正しました。 TPMD("thermal/power management device"温度/電源管理デバイス)が正常にリセットしたとき、SRC B1812A11 で "service action required"の代わりに、"informational"情報として記録するようにファームウェアを修正しました。 誤って SRC B18186x1 を記録し、FSP(フレキシブルサービスプロセッサダンプ)を生成する問題を修正しました。 SRC B181E550 に対して、FRU(フィールド交換ユニット)の適用指示を修正しました。 サービスプロセッサまたはその電源を交換後に、システムパーティションの日付が 1969 年に戻る問題を修正しました。これは、サービスプロセッサの TOD クロックが正しくサービス実行中に設定されたかどうかに関係なく発生します。 SRC B700F103 でシステムが正しく動作しない問題を修正しました。 <p>一部のシステムに影響するシステムファームウェアの変更</p> <ul style="list-style-type: none"> AIX または VIOS パーティションで、tprof(-a、-b、-B、-E オプション)コマンドまたは pmctl(-a、-E オプション)コマンドを使用した場合、パフォーマンスに影響をあたえる問題を修正しました。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ I/Oドロワ(FC5802)が入力電源異常 (SRC 10001512 or 10001522)から回復したことをオペレーティングシステムに通知できなかった問題を修正しました。 ・ Ax720 から Ax730 にアップグレードされるシステムで、ファームウェア・アップグレード中に、ログ B1818A0F が取られた場合、重要度を'predictive'から'informational'として扱うように、ファームウェアを修正しました。 ・ ディスク・ヘッドが消去されなかったことにより、論理パーティションの AMS 実行が失敗し、中断する問題を修正しました。 ・ HVMC で管理され、類似グループを使ったシステムで、パーティションの一つが正しく置けない問題を修正しました。 ・ 3 つあるいは 4 つのプロセッサカードを持ち、さらに FCO(field core override)オプションを使用している 8233-E8B モデルで、システムブート時、利用可能なプロセッサ数をいくつかのケースで誤って計算してしまう問題を修正しました。 ・ 2 つの仮想プロセッサで構成された、共用プロセッサパーティションで、1.0 の物理プロセッサ容量を超え、物理共用プロセッサに1つのプロセッサしか存在しないとき、ハングアップする問題を修正しました。 ・ 管理システムプロセッサが HVMC で間違っただけの表示をする問題を修正しました。 ・ プロセッサとメモリの関連付けがないシステムで、システムパフォーマンスが低下する問題を修正しました。AMS(Advanced Memory Sharing)稼働システムで、LPAR 作成中にシステムが正しく動作しない問題を修正しました。 ・ パワーセーブモードでのシステム待機で、システムリブートしたときに誤った SRC B150B943,B113C660, B113C661 が記録される問題を修正しました。 ・ 専用メモリが割り当てられているパーティションシステムで、パーティションの再開操作で、HVMC の SRC HSC0A945 となり専用メモリ割り当て失敗となる問題を修正しました。 ・ shared processor partitions が稼働するシステムで、パーティションがハングアップする問題を修正しました。 ・ FC 5740 (4-port GB Ethernet adapter)をインストールしたシステムで、SRC B7006970 が誤って 2 回記録され、ブート時のアダプタ構成認識を失敗する問題を修正しました。 ・ VIOS 稼働中のシステムで、VIOS コマンド"lsmap -npiv -all"で間違っただけのロケーションコードが出力する問題を修正しました。 ・ 4096 以上の仮想スロットを持つパーティションの移動操作ができない問題を修正しました。 ・ AMS(Advanced Memory Sharing)稼働システムで、AMS パーティションが移動するために必要な時間を短縮するようにファームウェアを改良しました。 ・ DB2 pureScale 稼働システムでの、RMDA(remote direct memory access)の断続的なエラー、そして pureScale サーバプロセスのコアダンプが取られる問題を修正しました。 ・ プロセッサとメモリの関連付けがないシステムで、ブート時間とシステムパフォーマンスを向上するように、ファームウェアを改良しました。 ・ 複数のハードウェアエラーが発生したとき、サービスプロセッサはリセット/リロードを起こし、システムがハングアップする問題を修正しました。 ・ 仮想スイッチ稼働システムで、特定の仮想スイッチへアクセスできるパーティションの数を制限するように、ファームウェアを修正しました。 ・ マルチドロワシステム上で、アテンション LED がドロワ 2 と 3 と 4 の DASD 異常の LED の状態を正しく反映できるように問題を修正 ・ SRC B1xxB507 でシステムがブートを失敗する問題を修正しました。 ・ ASMI(Advanced System Management Interface)を使い、手動でノードのデコンフィグができるように問題を修正しました。 ・ システムファンの故障を誤って通報をする問題を修正しました。 ・ 仮想プロセッサ数の多いシステムまたは論理パーティションで、パーティションの許容量利用ができない性能問題を修正しました。 ・ 複数の I/Oドロワを持つシステムで、SRC B181156C と B181A40F が誤って記録される問題を修正しました。 ・ ノードが消されたシステムで、ASMI(Advanced System Management Interface)メニューで "Processing Unit Deconfiguration option "を選択したとき、ノードが継続して表示される問題を修正しました。 ・ チェックストップのリカバリ中にサービスプロセッサの Fail over が発生したとき、チェックストップ後の自動システムリブートができない問題を修正しました。 ・ サービスプロセッサが手動操作できないシステムで、ASMI(Advanced System Management Interface)の System Service Aids 下にある Deconfiguration Records option が、サービスプロセッサに対して、null データを表示する問題を修正しました。 ・ 冗長なサービスプロセッサを持つシステムで、サービスプロセッサの fail-over が発生しない問題を修正しました。
AM730_035_035	<p>Impact: New Severity: New</p> <p>新機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4GB 以上のシステムプラットフォームダンプをサポートしました。 ・ FC5887 SAS ディスクドロワをサポートしました。

AM720_101_064	<p>Impact: Availability Severity: HIPER – High Impact/PERvasive, Should be installed as soon as possible.</p> <p>全てのシステムに影響するシステムファームウェア変更</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ いくつかのサービスプロセッサファームウェア障害のエラーログエントリーで重要度が”predictive”のものを誤って”informational”としてしまう問題を修正しました。 ・ SRC:B181951C を誤って 3 回ログ登録し、システム IPL の時間が 1 時間程増加する問題を修正しました。この問題はファームウェアレベル AL720_082、AL720_090、AM720_084、AM720_090、AH720_082 または AH720_090 がインストールされているシステムで発生する可能性が高くなります。 ・ プロセッサ 0 が guard out されたとき、EnergyScale のファームウェアが誤って Safe モードになる問題を修正しました。 ・ 誤って SRC B1812A61 が記録される問題を修正しました。 ・ システムダンプがサービスプロセッサから引き渡されない問題を修正しました。これが発生すると、追加のダンプを採取することができなくなります。 ・ AIX エラーログに複数の DR_DMA_MIGRATE_FAIL がエントリされる問題を修正しました。 ・ SRC B7000803 を誤って複数回登録する問題を修正しました。 ・ DLPAR(dynamic LPAR)によるパーティション間のプロセッサリソースの移動ができなくなる問題を修正しました。 ・ パーティションを boot できない問題を修正しました。 ・ HMC の interval activity report の機能が、利用可能な uncapped CPU を常に 100%と表示する問題を修正しました。 ・ サービスプロセッサの管理から外れたときに、ASMI の「Deconfiguration Records」メニューオプション (System Service Aids > Deconfiguration Records)で誤ったデータを表示する問題を修正しました。 ・ セカンダリサービスプロセッサのバッテリー交換が必要な状況を検出できない問題を修正しました。 ・ システムファンの回転数が 2800RPM 以下に低下したとき、SRC:11007610, 11007620, 11007630, 11007640, 11007650 を記録するようにファームウェアを更新しました。 ・ サービスプロセッサのリセット中にシステムのファンが適切な速度で回転できなくなり、ファン障害が起こる問題を修正しました。 ・ システムがスタンバイ状態のとき、筐体の緑の電源 LED がゆっくりと点滅せずに消灯してしまう問題を修正しました。 ・ システムファームウェアを AM710 から AM720 にアップグレードしたときに、プロセッサの capacity on demand (COD)が誤って使用可能になる問題を修正しました。 ・ administrative service processor fail-over (AFO)が、他のリセット処理なして実行された AFO により失敗する問題を修正しました。9117-MMB, 9179-MHB で活栓増設または活栓交換/メンテナンス中に発生すると、これらの操作が失敗します。 ・ VIOS パーティションが boot に失敗する問題を修正しました。 ・ Hypervisor の誤動作によりパーティションの動作を阻害する問題を修正しました。(この問題は性能に影響を与えません。) ・ パーティションの suspend 操作がハングアップする問題を修正しました。この問題が発生した場合、以降の全ての suspend 操作が同様にできなくなります。 ・ P6 から P7 の LPM(Live Partition Mobility)が成功した後で、target partition がクラッシュする問題を修正しました。 <p>AIX エラーログエントリーには以下のログが含まれる可能性があります。 label: DSI_PROC. resource: SYSVMM, description: "DATA STORAGE INTERRUPT, PROCESSOR" また、他のパーティションに関係するクラッシュのログが記録される可能性もあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ LPM(Live Partition Mobility)が成功した後で、AIX のエラーログが採取される場合がある問題を修正しました。 <p>AIX エラーログエントリーには以下のログが含まれる可能性があります。 label: RTAS_ERROR, resource: sysplanar0, description: "INTERNAL ERROR CODE" また、他にもエラーログが登録される可能性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ サービスプロセッサの時計を早い時間に合わせる場合に、timed-power-on 機能の時間が戻らない問題を修正しました。この問題は、例えば、サマータイム期間が終わり、時間を元に戻す秋などに発生する可能性があります。 ・ HMC の管理対象システムが incomplete になる問題を修正しました。 ・ サービスプロセッサが Standby のとき、緑の電源 LED が点滅するように修正しました。 ・ システムファンの速度が 3800 回転以下に低下すると SRC を記録するように改良しました。 <p>一部のシステムに影響するシステムファームウェアの変更</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2 台の HMC が接続されているシステムにおいて、1台の HMC が頻繁に incomplete 状態になる問題を修正しました。
---------------	--

	<ul style="list-style-type: none"> ホストイーサネットアダプタ(HEA)機能を使用しているシステムにおいて、ロジカルポートの削除に失敗したことを HMC が誤って報告する問題を修正しました。 POWER6 から POWER7にパーティションを移行するときに、AIX のライセンスが発行される問題を修正しました。 FC5802 I/O 拡張ドロウが接続されているシステムにおいて、I/O ドロウのリペアが行われたときに誤って SRC10003144 または 10003154 が記録される問題を修正しました。 GX アダプタが a non-checkstop type of error を前もって記録された場合に、GX アダプタの稼働時交換が失敗し、システムがクラッシュする問題を修正しました。 稼働時アップグレード(メモリ)またはノード A を稼働時交換する間、SRCB170E540、B181F02D と B700F103 が採取されクラッシュする問題を修正しました。 2 個またはそれ以上のノードが搭載されているシステムにおいて、SRC B1818A10 が誤って記録される問題を修正しました。 あるプラットフォームでブート時に SRC B2001230 が採られ、word 3 が 000000BF であった場合、その後 shutdown すると、そのパーティションではリブートもブートも失敗する問題を修正しました。この障害は、PCI.PCI-E または PCI-X スロットが割り当てられたパーティションで発生する可能性があります。 あるパーティションから他のパーティションへの DLPAR(dynamic LPAR)によるプロセッサリソースの移動ができない問題を修正しました。 FC5802 または FC5877 I/O ドロウが接続されているシステムにおいて、ページマイグレーション中にパーティションのクラッシュを引き起こす問題を修正しました。 HMC のコンポーネントレポート(component interval activity)で uncapped CPU が 100%使用可能であるように表示してしまう問題を修正しました。この状態となった場合、常に 100%のままとなり、他のシステムがプロセッサリソースを使用したり、解放したりしても増減しません。 p6 から p7 にパーティションを移動するときの AIX ライセンスの問題を修正しました。パーティション移動後(かつ、そのパーティションのリブート前)の移動先システムにこの問題があると、AIX コマンドの”uname -m”は期待した結果を返さない場合があります。 HMC の GUI 上でパーティションプロファイルのアダプタ情報を表示するときに接続されているデバイスの一覧を表示するように改良しました。
AM720_084_064	<p>Impact: Function Severity: HIPER - High Impact/PERvasive, Should be installed as soon as possible..</p> <p>新機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ブート時の診断テストを実行するかどうか、サービスプロセッサが自立的に判断する機能をサポートしました。 <p>全てのシステムに影響するシステムファームウェア変更</p> <ul style="list-style-type: none"> ハイパーバイザが指示したサービスプロセッサの reset/reload が完了した後で、サービスプロセッサの reset/reload が繰り返し起こり、フェイルオーバーの問題を修正しました。この問題によってサービスプロセッサとハイパーバイザの間の通信が失われます。(SRCB182951C が採取されます。) OS をブートできないディスクが SMS のブートメニューに表示される問題を修正しました。また、SMS ブートメニューでブート可能なハードディスクにインストールされた OS レベルも表示されない問題も修正されました。 I/O アダプタで回復可能な EEH(enhanced error handling)エラーが記録されたときに、DLPAR(dynamic LPAR)操作をしていないのに DLPAR エラーを示すログが記録されたり、回復不可能な SRC: BA180010 や BA250010 が誤って記録される問題を修正しました。 ドロウに搭載されたファンの状態を確認するため、ファンの存在を示す信号に加えてファンスピードを示す信号を示す信号も使用する変更をしました。この変更により、ファンが正常に動作しているにもかかわらずファンの存在を示す信号が誤っている場合にファームウェアが CPU ドロウをシャットダウンさせないようにしました。 サービスプロセッサがリセット/リロードする問題、プロセッサダンプが取られる問題、SRC: B181EF188 が記録される問題を修正しました。 ハードウェア管理コンソールが incomplete 状態を示し、ハードウェア管理コンソールにより管理されているパーティションが反応しなくなる問題を修正しました。 ブート中に SRC: C700406E でサーバがハングアップする問題を修正しました。 コントロールパネルを数週間使わずにいると、SRC: B1561111 のエラーが記録され、コントロールパネルが無効になる問題を修正しました。 システムのイニシャルリセットで採取された SRC によってサービスプロセッサダンプが記録される問題を修正しました。 ASMI の the memory deconfiguration メニューの表示を、保護されたリソースと構成から外したリソースを区別しやすいうように変更しました。 SRC: B121B8AB が示すハードウェア障害検出機能を改善しました。 <p>一部のシステムに影響するシステムファームウェアの変更</p> <ul style="list-style-type: none"> バーチャル SCSI またはバーチャルファイバーチャネルアダプタが DLPAR 操作によって加えられたとき、これらのアダプタから OS をブートできないように見える問題が修正されました。

	<ul style="list-style-type: none"> ライブパーティションモビリティでパーティションの移動先がPOWER6(520または550)の場合、システムIDが変わる問題を修正しました。この問題は、ソフトウェアライセンス上の問題を引き起こす可能性があります。 パーティションをPOWER7システムからPOWER6サーバへライブパーティションモビリティで移行するとき、誤ってSRC:BA210000またはBA280000が記録される問題を修正しました。 ライブパーティションモビリティでパーティションが、システムファームウェアAx720のPOWER7サーバからシステムファームウェアEx340以下のPOWER6サーバに移動するとハンガアップする問題を修正しました。 HEAでブロードキャストやマルチキャストを使用して、ビデオストリーミングのような数百万ものパケットの送受信を行うシステムにおいて、パケットストーム軽減アルゴリズムを改良し、パケットストームを検知したときに単にパケットを廃棄するようにしました。 パーティションのリブート中に、SRC:B2001230とword3=000000BFが採取されリブートが失敗する問題を修正しました。この問題は、PCI.PCI-E.PCI-Xスロットを構成に含むパーティションで起こる可能性があります。 本体にPCI-Eアダプタが搭載され、I/Oドロウ(FC5802)も接続されているサーバにおいて、ページマイグレーション中にSRC:B700F103が取られ、システムがクラッシュする問題を修正しました。 ホストイーサネット・アダプタ(HEA)を動かすシステム上で、回復不可を示す障害(SRC:BA154050,BA154070)が誤って記録される問題を修正しました。 I/Oドロウ(FC5802)が接続されたシステムで、ドロウの電源が1だけ動作する状態でもドロウの電源を投入できるように変更しました。 <p>稼働時保守に関するファームウェアの修正</p> <ul style="list-style-type: none"> ノードリペアオペレーション中に、SRC:B170E540が記録され、システムがハンガアップする問題を修正しました。
AM710_097_043	<p>Impact: Availability Severity: HIPER – High Impact/PERvasive, Should be installed as soon as possible.</p> <p>全てのシステムに影響するシステムファームウェア変更</p> <ul style="list-style-type: none"> サーバ起動時のSFLPHMCCMDTASK実行中にSRC:B7000602のログを出力し、ハードウェアマネージメントコンソール上でincompleteステータスとなる問題を修正しました。この問題はシステムクラッシュを引き起こす可能性があります。 ハイパーバイザが指示したサービスプロセッサのreset/reloadが完了した後で、サービスプロセッサのreset/reloadが繰り返し起こり、フェイルオーバーする問題を修正しました。この問題によってサービスプロセッサとハイパーバイザの間の通信が失われます。(SRCB182951Cが採取されます。) SRC:B2008151を出力してブートに失敗する問題を修正しました。この問題が発生すると、LPARを操作ができなくなり、LPARのコンフィグレーションも変更できなくなる可能性があります。これを回復させるためには、サーバのリブートが必要です。 複数のリセット/リロードコマンドが、ほぼ同時に両方のサービスプロセッサに発行されると、非常時のバックアップサービスプロセッサへのフェイルオーバーが成功しない問題を修正しました。非常時のフェイルオーバーがうまくいかない場合、システムはサービスプロセッサかハイパーバイザのどちらかによって終了させられます。この問題はサービスプロセッサのフェイルオーバー管理に影響しません。 ホストイーサネットアダプタ(HEA)からインフォメーションのSRC:B70069DAが誤検出される問題を修正しました。この問題は、ハイパーバイザからサービスプロセッサに通知され、ハイパーバイザとサービスプロセッサの通信により不必要な負荷を生じます。 ASMIメニューを使用して、障害/識別を示すLEDのインディケータを消灯できない問題を修正しました。 エラーログにSRC:B1812A60が誤って登録される問題を修正しました。 システムに接続されるI/Oドロウに一貫したバス番号を付加するようにファームウェアを改善しました。 SRC:B2008151を記録してクラッシュする問題を修正しました。 I/Oアダプタで回復可能なEEH(enhanced error handling)エラーが記録されたときに、DLPAR(dynamic LPAR)操作をしていないのにDLPARエラーを示すログが記録されたり、回復不可能なSRC:BA180010やBA250010が誤って記録される問題を修正しました。 <p>一部のシステムに影響するシステムファームウェアの変更</p> <ul style="list-style-type: none"> The enhanced cache option (ECO)が動作する9179-MHBシステムで、定期的にシステムファンが高回転になり、誤ったSRC:B181B9D3が記録される問題を修正しました。 シングルCPUドロウのシステムにおいて、ファームウェアインストールのコード活性化段階でシステムが"undetermined"状態になり、約10分後、完全にオフライン状態になる問題が修正されました。
AM710_086_043	<p>Impact: Function Severity: HIPER – High Impact/PERvasive, Should be installed as soon as possible.</p> <p>全てのシステムに影響するシステムファームウェア変更</p> <ul style="list-style-type: none"> SRC:B170E504(SRCデータのword8=0x01EE0005)が採られてシステムがクラッシュする問題を修正

	<p>しました。この問題は どのような状況でも起こる可能性があります、分割パーティションまたは SMT2 (simultaneous multi-threading 2)モードで動作している場合に発生する可能性が高くなります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ IPL 速度を別の方法で変更したとき、コントロールパネルの IPL 速度を自動で更新するよう改良されました。 ・ アウトオブメモリが発生した結果、SRC:B181720D が採取されてサービスプロセッサがクラッシュする問題を修正しました。 ・ 未定義のエラーコード SRC:B113E504 が誤って記録される問題を修正しました。 ・ メモリコントローラがフェイルまたはオーバーヒートしたとき、障害部位にプロセッサカードではなくメモリコントローラ/DIMM を指摘するようにファームウェアを修正しました。 ・ 主記憶のダンプを実行中に SRC:B181B8F8 または B181B86A が誤って記録される問題を修正しました。いずれの問題も SRC が記録されて主記憶のダンプデータの収集ができなくなり、障害回復に本来不要なハードウェア交換を指示していました。 ・ サービスプロセッサエラーログエントリ中のリセット/リロードビットが正しくセットされない問題を修正しました。 ・ 誤った SRC:B181E911 が生成され ASSIST 通報される問題を修正しました。また、この問題で不要なサービスプロセッサダンプが起こります。 ・ ハードウェア管理コンソールからサーバが "Incomplete" の状態に見える問題を修正しました。この問題は、多くのサービスプロセッサダンプを引き起こします。 <p>一部のシステムに影響するシステムファームウェアの変更</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Systems Director に組み込まれた Active Energy Manager を使用した動的パワーセーブモードのシステムにおいて、SRC B1812616 が記録されてハードウェアがチェックストップ(SRC B113E504)する問題が修正されました。 ・ POWER7 システムから POWER6 システムへライブパーティションモビリティを使ってパーティションを移動したとき、ターゲットシステムで SRC BA210000 が誤って記録される問題が修正されました。 ・ POWER7 システムから POWER6 システムへライブパーティションモビリティを使ってパーティションを移動したとき、ターゲットシステムで SRC BA280000 が誤って記録される問題が修正されました。 ・ IBM Director で Active Energy Manager が活性化されたシステムにおいて、プロセッサ使用量計算で小さなエラーを引き起こす問題が修正されました。 ・ 冗長サービスプロセッサを持つシステムで、SRC B181E617 が誤って記録され、サービスプロセッサダンプが発生し生成される問題が修正されました。 ・ "serv_config -l" コマンドが実行されたとき、Linux を実行中のシステムまたはパーティションがクラッシュする問題が修正されました。 ・ HMC で管理された i5/OS クラスタリング構成のシステムにおいて、I/O プールのパーティションを削除することから妨げる問題が修正されました。 ・ パーティションを POWER7 サーバから POWER6 サーバへライブパーティションモビリティで移行するとき、誤って SRC:BA210000 または BA280000 が記録される問題を修正しました。 ・ 冗長サービスプロセッサを持つシステムで、SRC:B181E617 が誤って記録され、不要なサービスプロセッサダンプが生成される問題を修正しました。
AM710_065_043	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新規リリース